

# 東日本大震災災害対策NEWS

◇東日本の仲間とともにがんばろう◇

〒336-8512 埼玉県さいたま市南区鹿手袋 6-18-12 TEL048-863-6211 Fax048-837-1989

## 建設資材の需要状況の緊急調査の結果を発表

林野庁  
経済産業省  
国土交通省  
環境省

現場で建材不足の情報、その他、大震災による現場での影響の情報を

林野庁、経済産業省、国土交通省、環境省は、住宅建設資材に関する生産拠点の損壊、物流の停滞、計画停電の影響、応急仮設住宅対応による需要増加等によって、住宅建設資材の需要状況にどのような影響が出ているのか、いつ頃回復するのか、過剰な在庫の保有がないのかといったことについて、現状の調査結果を発表しました。これは、この間、仲間の声を集約し、現場での資材不足など具体例を全建総連へ報告し、全建総連が三月二三日、二四日に関係省庁へ働きかけ、その後調査をすすめた結果となっています。しかし今後の見込みを見ても、正確さはどうなのか、疑問も残ります。引き続き、現場での実態を情報として支部へお寄せください。

建築資材不足はどのようなのか？  
見込みも疑問が残る！

## 東北を中心とした生産工場の操業停止、計画停電が追い打ちかけ、資材不足は深刻！

住宅建設資材の係わる需給状況の緊急調査結果

品目	供給量		応急仮設住宅における需要量	
	調査時点	今後の見込み		
合板	構造用合板	工場の被災により、震災前と比較して生産量は3割程度減。	被災していない全国の実生産工場でフル生産体制を敷くことにより、4月以降は震災前の生産量を確保できる見込み。	生産量に占める応急仮設住宅にかかわる需要量のシェアは小さく、供給に大きな問題はないと見込まれる。
	カラー合板	工場の被災により、一時的に生産が落ち込んだが、すでに操業を開始している。	おおむね震災前の生産量を確保できる見込み。	カラー合板については、厚さの違う合板や代替品での供給を含め、応急仮設住宅の需要増に十分対応できる見込み。
パーティクルボード	工場の被災、電力不足及び原材料不足により、震災前と比較して生産量は2割程度減。	計画停電と原材料調達の問題によるが、被災した工場の一部は5月頃に操業が再開可能であり、生産量は震災前の9割程度まで回復する見込み。	-	
MDF	工場の被災により、震災前と比較して生産量は2割程度減。	被災工場以外の工場における生産増強により、5月頃には震災前の生産量が確保できる見込み。	-	
断熱材	グラスウール	工場の被災や計画停電の影響により、震災前と比較して生産量は3割程度減。	被災した一部の工場の再開や輸入の拡大(4月から4,000t/月以上)により、4月下旬からは平時の供給量が確保できる見込み。他の被災工場の操業再開により、さらに5月以降は昨年以上の震災前の生産量を維持。	生産量に占める応急仮設住宅にかかわる需要量のシェアは、現時点ベースで5%程度、4月下旬以降の見込みベースで3%程度であり、供給に大きな問題はないと見込まれる。
	ロックウール	震災による影響なし。	-	-
外装材(窯業系)	押出免焼ポリスチレンフォーム	工場の被災や計画停電の影響により、震災前と比較して生産量は5割程度減。	計画停電により、生産量の変動はあるが、4月中には震災前の9割程度まで回復する見込み。	-
	外装材(窯業系)	工場の被災と原材料調達困難により、被災前と比較して生産量は3.5割程度減。	一部被災工場の操業再開、さらに、計画停電の要素を除けば全国の工場でフル生産体制を敷くことにより不足分をカバーし震災前の生産量を確保できる見込み。	-
サッシ	工場の被災と計画停電により、震災前と比較して生産量は2割程度減。	工場の操業再開により、4月以降は震災前の生産量を確保できる見込み。今後さらなる需要増加が生じた場合でも生産増強等に対応可能な見込み。	生産量に占める応急仮設住宅にかかわる需要量のシェアは、現時点で5%程度、4月下旬以降の見込みベースで4%程度であり、供給に大きな問題はないと見込まれる。	
複層ガラス	工場の被災や原材料調達困難により、震災前と比較して生産量は1割程度減。	工場の操業再開により、4月中旬以降は震災前の生産量を確保できる見込み。	-	
鋼材	住宅建設資材向けの鋼材は、仮設住宅の需要増により、震災前と比較して増産。	復興需要増に応じてさらなる増産を見込む。	-	
住宅設備	キッチン	工場の被災により、震災前と比較して生産量が一時的に落ち込んだが、大半の工場が生産を再開。	計画停電の影響はあるものの、順次震災前の生産量が確保される見込み。	現時点では、供給に大きな問題はないと見込まれる。
	洗面化粧台	工場の被災により、震災前と比較して生産量が一時的に落ち込んだが、大半の工場が生産を再開。	計画停電の影響はあるものの、順次震災前の生産量が確保される見込み。	-
	バスユニット	一部部品の供給不足により生産量が一時的に落ち込んだが、部品供給の目途が立ち、生産力は回復。	計画停電の影響はあるものの、順次震災前の生産量が確保される見込み。	現時点では、供給に大きな問題はないと見込まれる。
	給湯設備機器	一部部品の供給不足により生産量減。	部品調達の動向によるが、必要性の高いものから順次供給される見込み。	現時点では、供給に大きな問題はないと見込まれる。
浄化槽	計画停電の影響により、震災前と比較して生産量は1割程度減。	フル生産体制を敷くことにより、震災前の5割増し程度の生産量の確保が可能。今後の原材料の確保状況によっては生産量に影響を及ぼす可能性もある。	小型槽であればおおむね1万戸/月、中型槽であればおおむね5千戸/月分の供給が可能。設置する浄化槽の規模により、応急仮設住宅の配置計画の検討が必要。	
排水トラップ	震災の被災工場の影響で生産量減少。	被災地域以外の工場への生産移管により対応。5月末には震災前と同程度の生産量に回復する見込み。	現時点では、供給に大きな問題はないと見込まれる。	
電気配線(銅)	工場の被災、原材料の調達困難、計画停電の影響により、震災前と比較して生産量は4割程度減。	計画停電による動向によるが、原材料(可塑性等塩ビコンパウンド)の調達も改善しつつあり、4月以降順次回復し、5月初頭には元の生産量を確保できる見込み。	現時点では、供給に大きな問題はないと見込まれる。	
塩ビ管	計画停電の影響により、震災前と比較して生産量は4割程度減。	計画停電が解消されれば、生産量は震災前と同等の生産量を確保できる見込み。	現時点では、供給に大きな問題はないと見込まれる。	

\*震災による現場での影響、情報、仲間の奮闘を支部、本部へお寄せください。なお、写真があればメールで送ってください。よろしくお祈りします。